

おわりに

本書は、いまだに増加傾向の見られる不登校に対して、それに直面した支援者が、具体的にどのような手順で、どのように対応していけばよいかを【不登校への標準対応】としてまとめたものです。

ですから、ある程度マニュアル的にも使えるものを目指しましたが、ただ単純にマニュアル化したわけではありません。それぞれの領域における理論から導き出された理論知と、実践から導き出された経験知が織りなす臨床知とでも言うべきものの集大成として、多くの執筆者の力を借りて描き出されたものです。

本書の企画編集集中の期間は、まるまる新型コロナ禍と重なる期間でした。その中で、オンライン授業の導入などを通して学校教育も大きく変化しています。GIGAスクール構想も1人1台タブレットを中心に一気に進み、「学びの自立化と個別最適化」がキーワードとなっています。

このような流れの中で、不登校のとらえ方自体も変化していくことでしょう。しかしながら、どのような変化が起こったとしても、不登校への対応としては、本書の【標準対応】が第1選択であることを、執筆者一同、自信をもってみなさまにお伝えできます。

どうぞ、末永く本書をご活用いただければありがたいです。

2021年6月

小澤美代子 田邊昭雄